

認知症 ガイドブック

認知症
ケアパス

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすために



認知症ケアパスとは 認知症の進行状況に合わせて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスが受けられるかをまとめたものです。

鹿 沼 市

はじめに



鹿沼市では、市民の皆さんに認知症についての理解を深めていただくために、「鹿沼市認知症ガイドブック(認知症ケアパス)」を作成しました。

認知症の方やそのご家族が地域で安心して暮らしていけるよう、認知症の症状に応じた対応やサービスに関する情報を掲載していますのでご活用ください。

目次

1 認知症について	
1 認知症の症状	2
2 主な認知症のタイプ別特徴	5
3 認知症が疑われるサイン	7
2 認知症の診断と治療	
1 早期発見・診断・治療の重要性	9
2 認知症の予防のために	10
3 認知症の方への接し方	
	11
4 認知症の経過と支援の体制 (認知症ケアパス)	
	13
5 認知症の方とその家族を支える支援	
1 相談	15
2 予防・交流	17
3 医療	19
4 介護保険	20
5 生活支援	21
6 住まい	22

1 認知症について

認知症とは、脳の病気などいろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり働きが悪くなってしまったために、認知機能が低下し、日常生活に支障をきたす状態をいいます。

1 認知症の症状

認知症の症状は、**中核症状**と**行動・心理症状(BPSD)**の大きく2つに分けられます。

中核症状

脳の細胞が壊れることによって直接起こる症状で、治りにくいのが特徴です。

記憶障害

- 新しいことが覚えられない
- 同じことを何度も言う、聞く
- すぐ前のことを忘れてしまう



けんとうしき 見当識障害

- 時間や場所、季節がわからなくなる
- 家族や周囲の人のことがわからなくなる

※見当識とは、現在の年月や時刻、自分がどこにいるかなど、基本的な状況を把握することです。

実行機能障害

- 物事を順序よく進められない

理解・判断力の障害

- 考えるスピードが遅くなる
- 2つ以上のことが重なるとうまく処理できなくなる
- いつもと違うできごとで混乱しやすくなる

- 目に見えない仕組みが理解できなくなる

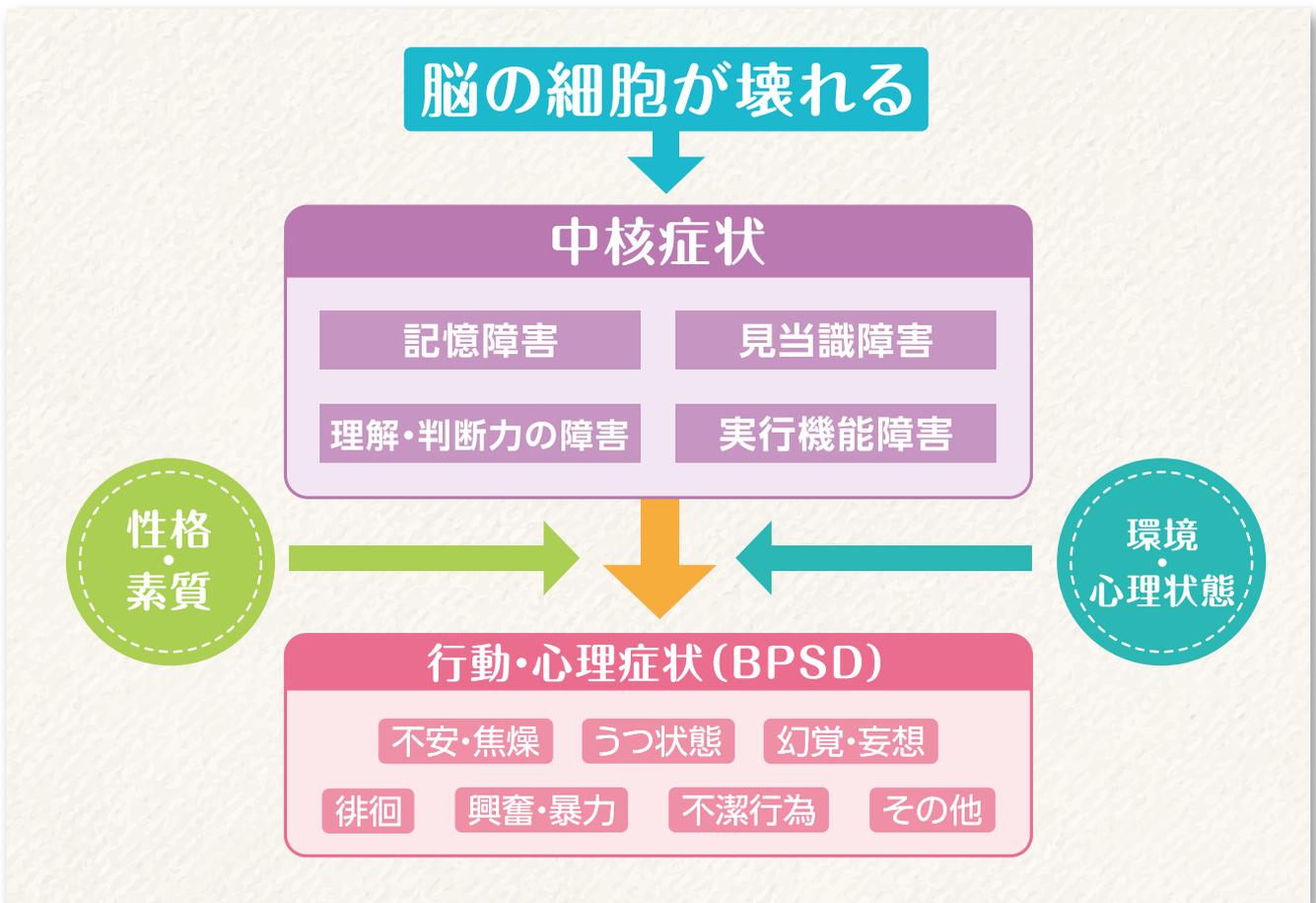
▶ 自動販売機や交通機関の自動改札、銀行のATM、全自動洗濯機やIH調理器など



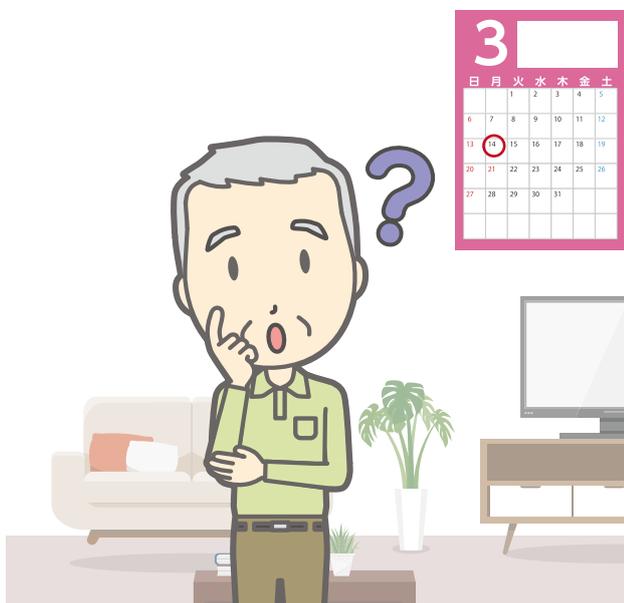
行動・心理症状 (BPSD)

本人の性格や素質、環境や人間関係などが複雑に絡み合っ、精神症状や日常生活における行動上の問題として起こる症状をいいます。これは原因や状況に応じて、対応方法や環境を整えることで改善する可能性があります。

暴言・暴力	感情のコントロールがしづらくなり怒りや衝動を抑えられず、怒りっぽくなる
無為・無関心	やる気が起きず、当たり前に行っていた習慣すらおっくうになる 趣味や好きなことに興味を示さなくなる
不安・うつ	1人になると怖がったり、寂しがったりする できないことが増え、自信を失い気分が落ち込む
妄想	自分の物を誰かに盗まれた、家族が財産を狙っているなどと主張する
徘徊	目的を持って外出しても途中で忘れてしまい帰れなくなったり、不安などから目的なく外出し歩き回る
睡眠障害	体内時計の狂いから、寝つきが悪くなったり、朝早く目覚めてしまう
幻覚・幻聴	周囲の人に見えていないものが見えたり、聞こえない音が聞こえたりする



加齢による物忘れと認知症の記憶障害との違い



加齢による物忘れ

- 経験したことが部分的に思い出せない
- 目の前の人の名前が思い出せない
- 物の置き場所を思い出せないことがある
- 何を食べたか思い出せない
- 約束をうっかり忘れてしまった
- 物覚えがわるくなったように感じる
- 曜日や日付を間違えることがある

認知症の記憶障害

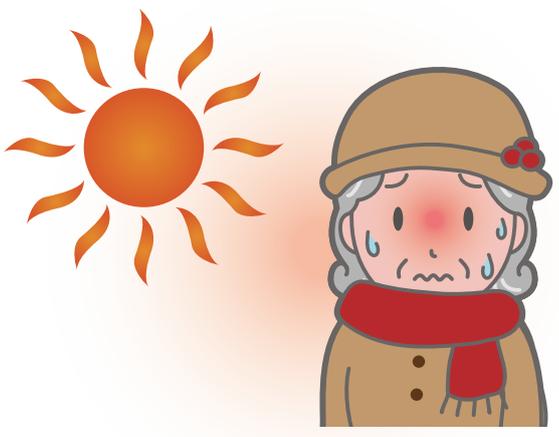
- 経験したこと全体を忘れている
- 目の前の人が誰なのかわからない
- 置き忘れ・紛失が頻繁になる
- 食べたこと自体を忘れている
- 約束したこと自体を忘れている
- 数分前の記憶が残らない
- 月や季節を間違えることがある

2 主な認知症のタイプ別特徴

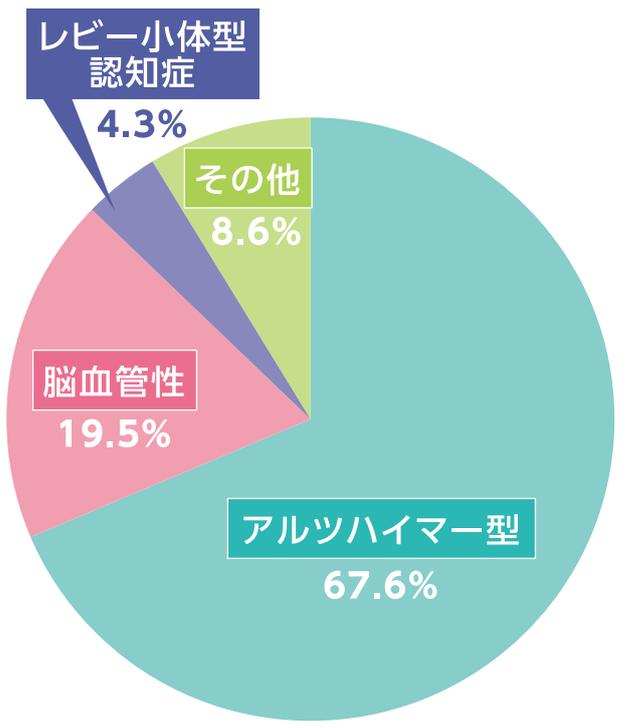
アルツハイマー型認知症

脳の神経細胞に異常なたんぱく質がたまり、細胞が破壊されて、脳が萎縮する病気。萎縮の場所と程度によって、様々な症状が現れます。

- 新しいことを覚えることが困難になり、経験したこと自体を忘れる
- 何かを忘れたり、わからないことに対して取りつくりうとするため、周囲の人が気づきにくい
- 季節感や時間の感覚があやふやになる



主な認知症の種類別割合



出典:都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応
平成23年度~24年度
(厚生労働科学研究費補助金疾病・障害対策研究分野認知症対策総合研究)

脳血管性認知症

脳の血管が詰まったり(脳梗塞)、破れたり(脳出血)して血流が途絶え、脳細胞が死滅するために起こる認知症。

- 脳血管障害が起きるたびに、段階的に進行する
- 気分が落ち込んだり、何かをしようとする意欲が下がる
- 悲しくないのに泣いたり、おかしくないのに笑ったりする(感情失禁)
- 記憶障害は軽く、人格や判断力は保たれることが多い
- 動脈硬化の危険因子を抱える男性に多い
- 脳血管障害の再発を防ぐことで進行を予防できる



レビー小体型認知症

レビー小体と呼ばれる異常なたんぱく質のかたまりが脳の神経細胞にたまる病気。初期には、物忘れが目立たないことが特徴。

- 人物や動物、虫など、他の人には見えないものが見えたり、それに話しかけたりする
- 初期では手が震えるが、進行すると筋肉が硬くなって震えが止まる
- 歩行が小刻みになって、転倒しやすくなる



前頭側頭型認知症

前頭葉と側頭葉を中心に脳が徐々に萎縮する病気。反社会的な行動が出たり、言葉の意味がわからなくなってきました。

- 興味、関心が薄れると、会話中でも立ち去ってしまう
- 抑制がきかなくなり、万引きや信号無視、暴力や痴漢などの社会ルールに違反することがある
- 同じパターンの行動を繰り返す
- 50歳くらいから発病することもある



若年性認知症について

65歳未満で発症する認知症のことを、「若年性認知症」といいます。

まだ若いということで認知症であると気づかれにくく、疲れや更年期障害、うつ病などと思われ、専門医療機関を受診しないことが多く、発見が遅れる傾向にあります。



3 認知症が疑われるサイン

認知症の始まりによく見られる症状です。いくつか当てはまる場合、

物忘れがひどい

- 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 同じことを何度も言う・問う・する
- しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探している
- 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う



- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない
- テレビ番組の内容が理解できなくなった

判断・理解力が衰える

時間・場所がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある



出典:公益社団法人認知症の人と家族の会

まずはかかりつけ医に相談してみましょう。

人柄が 変わる

- ささいなことで怒りっぽくなった
- 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「この頃様子がおかしい」と周囲から言われた



- ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える

不安感が 強い



意欲が なくなる

- 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ふさぎ込んで何をするのもおっくうがり嫌がる



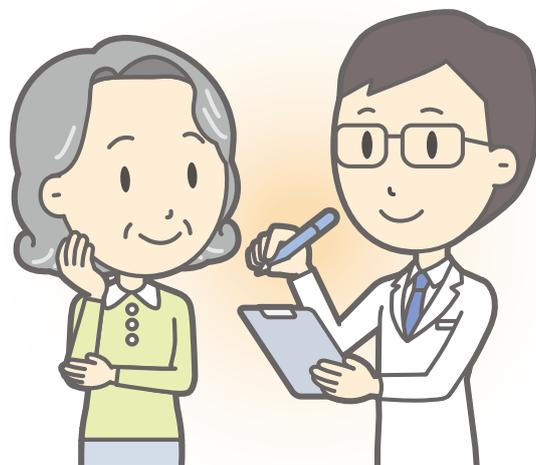
2 認知症の診断と治療

1 早期発見・診断・治療の重要性

認知症の早期発見・診断・治療は、他の病気と同じようにとても重要です。おかしいなと思ったら、早めに受診しましょう。

1 準備ができる

早期の診断を受け、症状が軽いうちに本人や家族が病気と向き合い話し合うことで、介護サービスの利用や治療を受ける場合の確認など、将来の生活に備えることができます。



2 治療ができる

認知症の原因となる病気には、治療すれば改善が可能なものもあります。早めに受診をして原因となっている病気の診断を受けることが大切です。

3 遅らせることができる

原因となる病気によって、治療方法が異なります。適切な治療を受けることによって、進行を遅らせることができる場合もあります。

Q. 何科に行けばいいの？

一般的には、精神科や神経内科、心療内科、脳神経外科で診てもらえます。また「認知症疾患医療センター」という専門の医療機関もあります。詳しくは、19・20ページをご覧ください。

何科を受診したらよいか迷った時や、本人が受診を嫌がる時などは、まずはかかりつけ医に相談してみましょう。また、家族の方だけでも受診し、相談してみるのも1つの方法です。

相談先として、鹿沼市認知症初期集中支援チームもあります。詳しくは、15ページの④鹿沼市認知症初期集中支援チームをご覧ください。



受診の際のポイント

気になることを事前にまとめておきましょう

医療機関を受診する場合には、診断のための検査のほかに、物忘れの状態などを質問されることがあります。日常生活の様子などを事前にまとめておくと診断の手助けになります。

本人の状態

- いつ頃から、どんな状態が、どのように現れたか
- これまでかかった病気や現在かかっている病気
- 飲んでいる薬(お薬手帳の持参)

家族から本人をみて

- 日常生活の様子
- 生活する上で困っていること
- 性格や習慣の変化など

2 認知症の予防のために

認知症の予防とは、発症や進行のリスクを少なくすることです。次のことを心がけましょう。

生活習慣病の予防・悪化防止

- 早寝早起き、生活リズムを整えましょう
- 適度な昼寝や睡眠をしっかりと、脳と体を休めましょう
- 年に1回は健診を受けて、早めに対策しましょう
- 医療機関を適切に受診し、持病の管理をしましょう



食生活の改善への取組み

- バランスのよい食事を心がけましょう
- 青魚や野菜、果物などを積極的に食べましょう



脳活性化への取組み

- 運動などで体を動かしましょう
- 外に出かけましょう
- 人と交流しましょう
- 趣味や好きなことを楽しみましょう



3 認知症の方への接し方

認知症の症状が進むと、物忘れによる失敗、家事や仕事がうまくいかなくなることが徐々に増えてきます。また、認知症特有の「**言われても思い出せない物忘れ**」が重なると、本人は自分の変化に戸惑い不安を感じ始めます。

誰よりも心配で、苦しみ、悲しんでいるのは本人であることを理解し、温かく見守り、さりげなく支援することが大切です。

認知症の方への対応の心得3つの**ない**



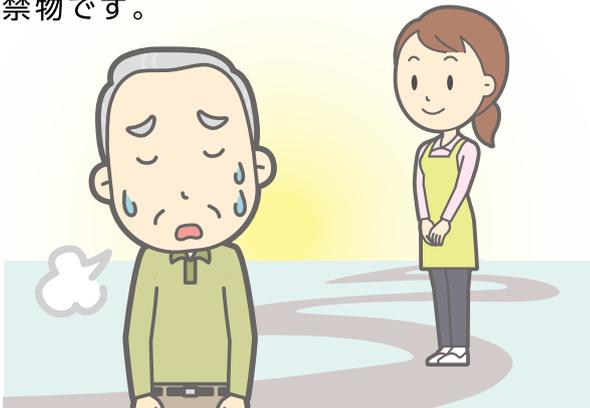
- 1 **驚かせない**
- 2 **急がせない**
- 3 **自尊心を傷つけない**



具体的な対応の7つのポイント

1 まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人やほかの人に気づかれないように、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。近づきすぎたり、ジロジロ見たりするのは禁物です。



2 余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。



3 声をかけるときは1人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ1人で声をかけます。

4 後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視野に入ったところで声をかけます。唐突な声かけは禁物。
「何かお困りですか」「お手伝いしましょうか」
「どうなさいましたか」
「こちらでゆっくりどうぞ」など。



5 相手に目線を合わせてやさしい口調で

小柄な方の場合は、体を低くして目線を同じ高さにして対応します。

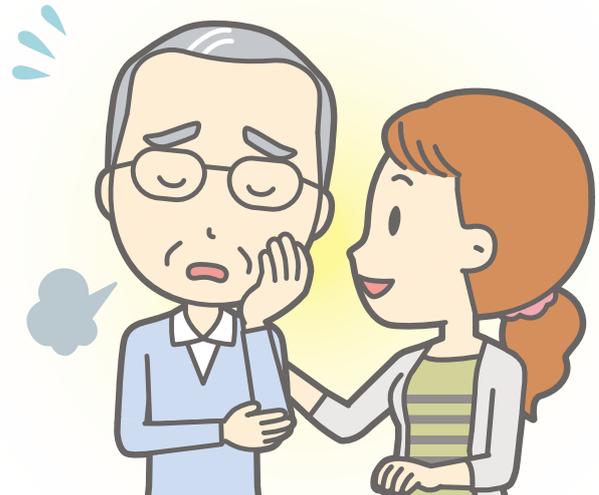


6 おだやかに、はっきりした話し方で

高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくり、はっきりと話すように心がけます。早口、大声、甲高い声でまくしたてないこと。その土地の方言でコミュニケーションをとることも大切です。

7 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症の方は急かされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えることも苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。たどたどしい言葉でも、相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきます。



4 認知症の経過と支援の体制(認知症ケアパス)

認知症の段階	認知症の疑い
	自立
本人の様子 気になる状況に☑を付けてみましょう 今どのあたりの状況か 確認してみましょう	<input type="checkbox"/> 服装に気を遣わなくなった <input type="checkbox"/> 同じことを何回も話すことが増えた <input type="checkbox"/> 手の込んだ料理を作らなくなった <input type="checkbox"/> 計算の間違いが多くなった <input type="checkbox"/> 冷蔵庫の中に同じものがいくつもある <input type="checkbox"/> 財布などの物が見当たらないと家族などの身近な人のせいにする
本人の気持ち	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後の自分の状態が不安だ ● 周りから「もっとしっかりして」と言われると苦しい ● 物忘れや失敗などが続くと不安だ
家族の心構え	<ul style="list-style-type: none"> ● 不安な気持ちを理解することに努め、やさしく声かけをしましょう。 ● 家庭や地域で本人の役割をつくり、自信をなくさないよう配慮しましょう。 ● 年齢相応の物忘れなのか認知症なのか迷ったときは、かかりつけ医や認知症相談医、高齢者支援センターなどに相談しましょう。
相談	高齢者支援センター 市高齢福祉課 栃木県県西健康福祉センター 認知症の人と家族の会栃木県支部 認知症初期集中支援チーム
予防・交流	なごみ館(高齢者・障害者トレーニングセンター) 出会いの森福祉センター 介護予防教室 認知症カフェ 鹿沼市介護者の会(認知症の人を抱える)
医療	かかりつけ医 医療機関(精神科・神経内科・心療内科・脳神経外科など) とちぎオレンジドクター 認知症疾患医療センター
介護保険	介護保険の検討
生活支援	地域の見守りや助け合い(民生委員・みまもり隊・警察・消費生活センター・認知 徘徊老人SOSネットワーク 鹿沼市高齢者見守りネットワーク
住まい	日常生活用具の給付 有料老人ホーム サービス付き高齢者向け住宅 ケアハウス

右に行くほど発症から時間が経過し、症状が進行していきます

 認知症(軽度) 誰かの見守りがあれば日常生活は自立	 認知症(中等度) 日常生活を送るには支援や介護が必要	 認知症(重度) 常に専門医療や介護が必要
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> たった今しようとしたことや話したことを忘れる <input type="checkbox"/> 料理をしなくなった <input type="checkbox"/> ささいなことで怒りっぽくなった <input type="checkbox"/> 薬の管理ができない <input type="checkbox"/> 道に迷って帰れなくなりそうになったことがある 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 季節に合った服装が選べない <input type="checkbox"/> 顔を洗わない、入浴を嫌がるなど、身だしなみを気にしない <input type="checkbox"/> はしの使い方がわからない <input type="checkbox"/> 排泄の失敗が増えた <input type="checkbox"/> 知人のことがわからなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 身近な家族の顔がわからなくなる <input type="checkbox"/> 自由に身体を動かせなくなる <input type="checkbox"/> 食べ物の飲み込みに支障が出る
<ul style="list-style-type: none"> ● できない事も増えるが、できる事もたくさんあることを知って欲しい 		<ul style="list-style-type: none"> ● 症状がかなり進んでも、何もわからない人だと思わないでほしい
<ul style="list-style-type: none"> ● 失敗を責めない、プライドを傷つけないような対応を心がけましょう。 ● 見守る人を増やし、制度を利用しましょう。 ● がんばりすぎない介護を心がけましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 話を^{しん}真摯に聞く姿勢を持ち、気持ちに寄り添いましょう。 ● 「認知症カフェ」や「鹿沼市介護者の会」などを活用しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ● さまざまなサービスや各種制度などを上手に活用しましょう。 ● 介護は家族で協力し合い、役割分担しましょう。 ● ストレスをためないように楽しみをつくり、介護者自身の健康も大切にしましょう。

(精神保健福祉相談) 市介護保険課
 在宅介護支援センター
 居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)

(高齢者福祉センター) ほっとホーム ほっとサロン 老人クラブ
 家族の会)

自宅で医療・看護サービスを受ける(訪問診療医・歯科医、訪問看護師・薬剤師)

介護保険の申請 介護サービスの利用

通所介護(デイサービス) 通所リハビリテーション
 訪問介護(ヘルパー) 訪問入浴介護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導
 短期入所生活介護(ショートステイ) 小規模多機能型居宅介護

症サポーター・企業) 緊急通報システム 紙オムツ引換券 配食サービス
 あすてらす(日常生活自立支援事業) 成年後見制度

福祉用具貸与 特定福祉用具の購入費支給 自宅(住宅改修)
 グループホーム 特別養護老人ホーム

5 認知症の方と その家族を支える支援

1 相談

1 高齢者支援センター(地域包括支援センター)

専門職(主任ケアマネジャー、保健師・看護師、社会福祉士)が、地域住民(地域の高齢者)の心身の健康の維持、生活の安定、保健・福祉・医療の向上と増進のために必要な援助、支援を包括的に行います。

開設日時:月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分(祝日・年末年始を除く)

名称	住所	電話番号	担当地区
高齢者支援センター 鹿沼	今宮町1688-1(鹿沼市役所内)	63-2175	市内全域(統括)
高齢者支援センター 東	上石川1465-4 (北犬飼コミュニティセンター内)	74-7801	東部・北犬飼
高齢者支援センター東部台	幸町2-1-26(木村ビル1階)	74-7337	東部台・北部
高齢者支援センター 北	富岡492-2 (オレンジホームデイサービスセンター内)	62-9688	菊沢・板荷
高齢者支援センター 中央	上殿町960-2 (老人保健施設かみつが内)	64-7236	中央・東大芦 西大芦・加蘇
高齢者支援センター 南	縦山町40-2 (デイサービスセンターリズム内)	60-2000	北押原・南押原
高齢者支援センター 西	□栗野1780 (栗野コミュニティセンター内)	85-1061	南摩・栗野・粕尾 永野・清洲

2 高齢福祉課

認知症に関する相談のほか、健康や生活など高齢者に関する相談。

開設日時:月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分(祝日・年末年始を除く)

問合せ先:高齢福祉課 電話63-2175

3 介護保険課

介護保険サービスを利用する際に必要となる「要介護認定」の申請及び介護保険に関する相談。

開設日時:月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分(祝日・年末年始を除く)

問合せ先:介護保険課 電話63-2286



4 鹿沼市認知症初期集中支援チーム

認知症についての困りごとや心配ごとなどの相談に対応するチームです。まず高齢者支援センターにご相談ください。

対象:認知症またはその疑いがあるが、医療や介護などのサービスを受けていない方。

サービスを受けているが行動・心理症状などが顕著で対応に困っている方。

5 栃木県県西健康福祉センター

認知症、心の病、アルコール、薬物など精神保健福祉全般に関する相談。

- 精神科医師による相談（※要予約、事前に保健師による面談を行います）
- 保健師による相談（※要予約）

開設日時:月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分(祝日・年末年始を除く)

問合せ先:県西健康福祉センター(今宮町1664-1) 電話62-6224

6 認知症の人と家族の会栃木県支部

全国47都道府県に設置されている会の栃木県支部です。

- 電話相談 電話028-627-1122
開設日時:月～土曜日 午後1時30分～4時(祝日・年末年始を除く)
- つどい・来所相談

会場:とちぎ健康の森(宇都宮市駒生町3337-1)

開催日時:毎月第4水曜日 午後1時30分～4時

- 若年性認知症に対する電話相談 電話028-627-1122
開設日時:月～土曜日 午後1時30分～4時(祝日・年末年始を除く)

- 若年性認知症支援コーディネーターによる支援
相談内容に応じて、来所相談(※要予約)や出張支援及び関係機関との連携調整などの個別支援を行います。まずは上記電話相談をご利用ください。

7 在宅介護支援センター

高齢者支援センターの開設時間外に対応している相談窓口。

開設日時:24時間相談可

名称	住所	電話番号
さつき荘 在宅介護支援センター	白桑田254-7	76-2956
在宅介護支援センター グリーンホーム	下日向438-1	63-3677
在宅介護支援センター たけむらクローバー館	茂呂1858-147	63-6005
在宅介護支援センター かみつが	上殿町960-2	64-7281
ハーモニー 在宅介護支援センター	村井町146-6	60-2345
在宅介護支援センター おりづる	茂呂1090-25	60-2272
在宅介護支援センター 栗野荘	深程1521-1	85-2512

8 居宅介護支援事業所

介護支援専門員(ケアマネジャー)が、介護サービス利用の相談を受けたり、介護サービス計画(ケアプラン)を作成します。

ケアプランの作成 要介護者やその家族と面接し、その方にあったケアプランを作成します。

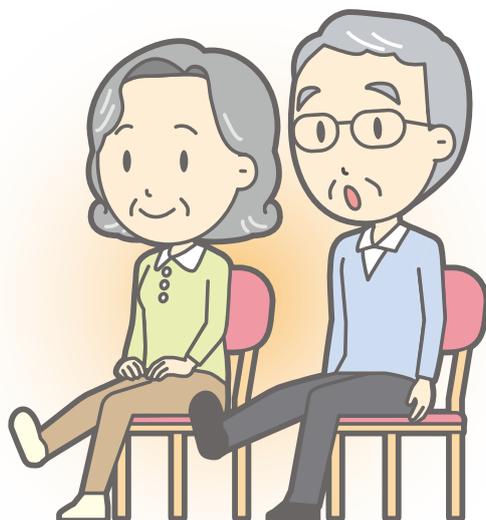
相談や助言 生活上の不安や介護に関する相談を行います。

※居宅介護支援事業所の所在地や連絡先については、介護保険課までお問い合わせください。

2 予防・交流

1 介護予防教室

- 元気アップくらぶ(介護予防運動教室)
イスに座ってできる簡単な運動を中心とした介護予防の取組みを、コミュニティセンターなどで開催しています。
- 元気アップ教室(介護予防教室)
フレイル^{*}を予防・改善することを目的に、運動・口腔・栄養について学ぶ教室です。
※フレイルとは、加齢にともない心身の機能が低下した「虚弱」を意味し、「健康」と「要介護」の中間の状態をいいます。
- 脳力アップ教室(認知症予防教室)
認知症予防のために、脳をいきいきと元気にする方法を学ぶ教室です。
問合せ先:高齢福祉課 高齢者支援センター 電話63-2175



2 なごみ館(高齢者・障害者トレーニングセンター)

- おおむね60歳以上の方が、マシンを使用したトレーニングや各種介護予防事業を通じて仲間とふれあいながら心身の健康を維持する機会を提供します。一部利用料が必要です。
- 開館時間:午前8時30分～午後5時
休館日:毎週月曜日・祝日(祝日が月曜の場合、前日も休館)・年末年始・8/13～8/15
問合せ先:なごみ館(酒野谷1004-1) 電話62-1234

3 出合いの森福祉センター(高齢者福祉センター)

- 高齢者の憩いの場として設置された温泉を活用した施設です。各種講座やクラブ活動も行われています。どなたでも利用できます。入館料、一部設備の利用料が必要です。
- 開館時間:午前9時～午後8時(お風呂は午前10時から、入館は午後7時30分まで)
休館日:毎週月曜日・年末年始
問合せ先:出合いの森福祉センター(酒野谷1006) 電話62-7691

4 ほっとホーム

- おおむね60歳以上で家にとじこもりがちの方が、通所による趣味活動等を通じて、仲間とふれあいながら心身の健康を維持できるよう、気軽に利用できる場を提供します。生きがい活動援助員がお手伝いし、市内7か所で、週3回程度開設しています。
- 問合せ先:高齢福祉課 長寿推進係 電話63-2288

5 ほっとサロン

地域住民が地域の高齢者を対象として、お茶を飲みながら話のできる場所を設け、近隣地域の助け合い型の自主的活動として実施しています。

問合せ先:高齢福祉課 長寿推進係 電話63-2288

6 老人クラブ

生きがい・健康づくり、社会参加活動、ボランティア活動などを行っている、地域を基盤とした高齢者の自主的な組織です。

問合せ先:鹿沼市老人クラブ連合会(鹿沼市総合福祉センター内) 電話65-5191

7 鹿沼市介護者の会 (認知症の人を抱える家族の会)

現在介護をしている方と介護を終えた方が集う会です。

毎日の介護の中でどのように対応したらよいか迷ったこと、困ったこと、悩みなどを相談したり、介護している方の気持ちなどをお互いに話し合ったりしています。会員以外の方でも気軽に話をしたり、相談ができます。

場所:鹿沼市民情報センター 1階 研修室

開催日時:原則毎月第4木曜日 午前10時~正午

問合せ先:高齢福祉課 高齢者支援センター 電話63-2175

8 認知症カフェ

認知症の方やその家族、認知症のことが気になる方、ボランティア、そして医療や福祉の専門職などが気軽に集まり、お茶を飲みながら語り、ひと時を過ごせる場所です。

● いちごの花

場所:北押原コミュニティセンター(縦山町162-2)

問合せ先:高齢者支援センター南 電話60-2000

● アダージョ

場所:上都賀総合病院(下田町1-1033)

問合せ先:上都賀総合病院リハビリテーション科 電話64-2161

● オレンジ まいら

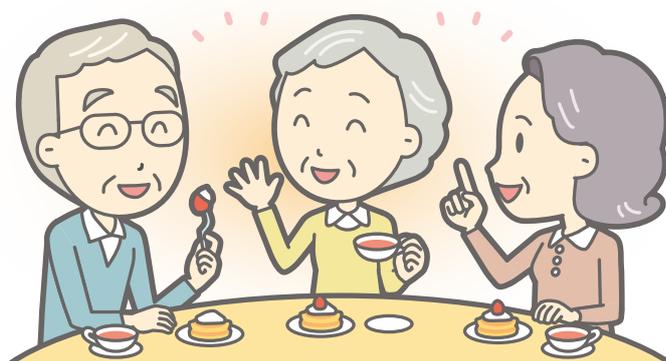
ドッグカフェ

セラピー犬がおもてなしします。

場所:いぬかふえ まいら(日吉町846)

問合せ先:いぬかふえ まいら

電話60-6055



3 医療

1 かかりつけ医

日頃から受診しているかかりつけ医は、本人の身体状況や病歴、普段の様子を把握している身近な相談窓口です。

まずは、かかりつけ医に相談してみましょう。専門的な治療が必要であれば、適切な専門の医療機関を紹介してくれます。



2 とちぎオレンジドクター（栃木県もの忘れ・認知症相談医）

「とちぎオレンジドクター」は、もの忘れや認知症の相談ができる医師として、栃木県が認定した医師です。「とちぎオレンジドクター」が在籍する医療機関には、認定プレートが院内などに掲示されています。詳しくは、栃木県のホームページをご覧ください。



まずはホームページへ

とちぎオレンジドクターは、県に登録された「もの忘れ・認知症相談医」です

とちぎオレンジドクター

検索



3 市内の精神科・心療内科・脳神経外科

医療機関名(診療科)	住所	電話番号
鹿沼病院(精神科)	千渡1585-2	64-2255
上都賀総合病院(精神科・脳神経外科)	下田町1-1033	64-2161
奥山医院(心療内科)	上材木町2320	64-2207
鈴木内科(心療内科)	石橋町1600-7	64-3667
鹿沼脳神経外科(脳神経外科)	茂呂2027	63-1333

4 認知症疾患医療センター

認知症疾患医療センターは、都道府県や政令指定都市が指定する病院に設置するもので、認知症疾患における鑑別診断、地域における医療機関などの紹介、問題行動への対応についての相談や支援などを行う医療機関です。

<県内の認知症疾患医療センター一覧>

医療機関名	住 所	電話番号
上都賀総合病院	鹿沼市下田町1-1033	0289-64-2186
獨協医科大学病院	壬生町大字北小林880	0282-87-2251
自治医科大学附属病院	下野市薬師寺3311-1	0285-58-8998
済生会宇都宮病院	宇都宮市竹林町911-1	028-680-7010
皆藤病院	宇都宮市東町22	028-689-5088
足利赤十字病院	足利市五十部町284-1	0284-20-1366
足利富士見台病院	足利市大前町1272	0284-62-7775
芳賀赤十字病院	真岡市中郷271	0285-81-3856
佐藤病院	矢板市土屋18	0287-43-1150
烏山台病院	那須烏山市滝田1868-18	0287-82-0051

5 自宅で受けられる医療・看護サービス

介護保険の認定を受け通院が困難な場合には、医師、歯科医師、薬剤師、看護師などが訪問して、療養上の管理ができるようサポートします。



4 介護保険

介護保険のサービスを利用するには、介護保険課に申請が必要です。高齢福祉課や高齢者支援センターは、介護保険の申請手続きの説明や、相談者の必要とする医療・介護・福祉などの関係機関を案内します。

介護保険課で配布している介護保険のガイドブックをご覧ください

5 生活支援

1 消費生活相談

「訪問販売がしつこくて困っている」「契約してしまったが解約したい」「頼んでいないものが送られてきた」「借金が返済できずに困っている」などの消費生活全般に関する相談窓口です。

開設日時:月～金曜日 午前9時～午後4時(祝日・年末年始を除く)

問合せ先:生活課 消費生活センター 電話63-3313

2 認知症サポーター養成講座

認知症の正しい知識や接し方を学び、自分のできる範囲で認知症の方とその家族をサポートする認知症サポーターの養成講座を開催しています。

養成講座は、地域や学校、職場などからのご要望に応じて行っています。

問合せ先:高齢福祉課 高齢者支援センター 電話63-2175

3 あすてらす(日常生活自立支援事業)

「福祉サービスの使い方がよくわからない」「いろいろなお金の支払いに自信がない」「通帳や重要な書類の管理が不安」など、認知症や知的障がい、精神障がいにより判断能力が十分でない方を対象に、社会福祉協議会の職員などが各種支払いや預貯金の出し入れ、書類の預かりなどをお手伝いします。

問合せ先:鹿沼市社会福祉協議会 電話63-2817

4 成年後見制度

成年後見制度は、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、ものごとの判断能力が十分でない方が、さまざまな契約や財産管理などをする時に不利益を生じることがないように、ご本人を守り、支援する人(成年後見人等)を選任する制度です。

制度を利用するには、宇都宮家庭裁判所(電話028-621-4854)に申立てが必要です。

問合せ先:鹿沼市成年後見センター(高齢福祉課) 電話63-2175

● 鹿沼市成年後見センター

成年後見制度の総合的な相談窓口です。

開設日時:月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分(祝日・年末年始を除く)

● 成年後見制度相談会(※要予約)

司法書士による成年後見制度に関する個別相談会。

開催日時:原則毎月第3木曜日 午前10時～正午 ※相談は1時間まで

協力:公益社団法人成年後見センター・リーガルサポートとちぎ支部

5 紙オムツ引換券 6 配食サービス 7 緊急通報システム

高齢福祉課で配布している「高齢者のための在宅福祉サービス」をご覧ください

問合せ先:高齢福祉課 長寿推進係 電話63-2288

8 徘徊老人SOSネットワーク

高齢者が徘徊した場合の捜索、あるいは徘徊者を発見した場合の連絡及び対応体制について、警察で実施している徘徊老人SOSネットワークと連携しています。

9 鹿沼市高齢者見守りネットワーク

高齢福祉課・高齢者支援センター・協力事業所、そして地域の皆さんが協力し合って高齢者の方を見守るためのネットワークです。

高齢者の方の異変を早期に発見し、適切な支援につなげるなど地域全体で行う見守り活動です。
問合せ先:高齢福祉課 高齢者支援センター 電話63-2175

6 住まい

1 自宅(住宅改修) 2 福祉用具貸与

3 特定福祉用具の購入費支給

介護保険課で配布している介護保険のガイドブックをご覧ください

問合せ先:介護保険課 電話63-2286

4 日常生活用具の給付

高齢福祉課で配布している「高齢者のための在宅福祉サービス」をご覧ください

問合せ先:高齢福祉課 長寿推進係 電話63-2288

5 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅・ケアハウス・グループホーム・特別養護老人ホーム

問合せ先:高齢福祉課 高齢者支援センター 電話63-2175

鹿 沼 市



認知症ガイドブック

認知症ケアパス

鹿沼市認知症ガイドブック(認知症ケアパス)

～認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすために～ (令和4年3月発行)

発行 鹿沼市保健福祉部高齢福祉課

電話：0289-63-2175 FAX：0289-63-2169

E-mail：koureifukushi@city.kanuma.lg.jp

監修 上都賀郡市医師会 上都賀総合病院認知症疾患医療センター 鹿沼病院

この冊子は、明治安田生命保険相互会社「私の地元応援募金」の寄付により作成しています。